

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和元年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。

□ 事業内容

1 国産木材を活用した小中学校等における机・椅子整備事業

- ・ 小中学校の新增築学級において生徒が使用する机・椅子について、国産木材を使用した製品を整備する。

【事業費】 56,870千円（うち譲与税47,960千円）

【実績】 机・椅子：2,200セット

2 公設民営学校（国際バカロレア等）の設置（机・椅子の整備）

- ・ 新設する公設民営の中高一貫校において生徒が使用する机・椅子について、国産木材を使用した製品を整備する。

【事業費】 12,977千円（うち譲与税12,977千円）

【実績】 机・椅子：502セット

□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・ 森林整備や木材利用の重要性を伝えるため、設置する全ての机・椅子に森林環境贈与税を活用の旨を表示したシールを貼った。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	109,611千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	160人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

